

平成28年度

『みんなで創る内牧小学校』

～ 学校評価アンケート集計結果まとめ ～



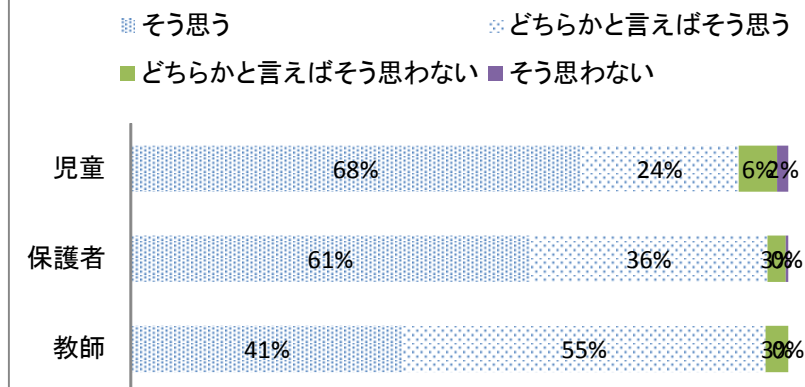
放課後子ども教室「わくわく児童クラブ」の活動から

【調査の概要】

調査期間	平成28年11月8日（火）～平成28年11月28日（月）
調査対象	全児童 538名（回収率 98.9%）
	保護者 441家庭（回収率 94.8%）
	教職員 29名
	学校関係者 5名 （学校評議員）

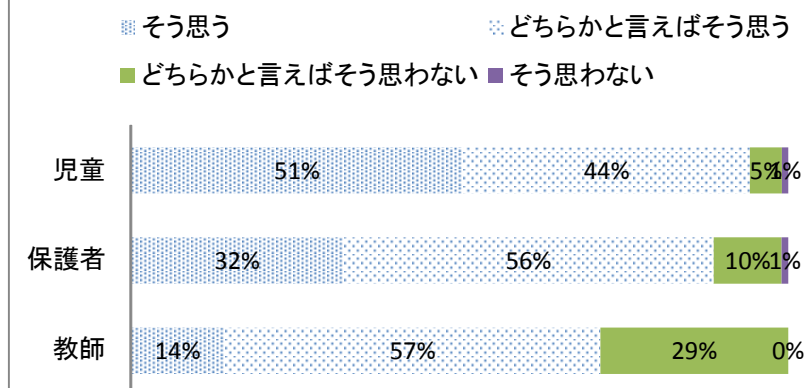
春日部市立内牧小学校

1. 学校は楽しいか



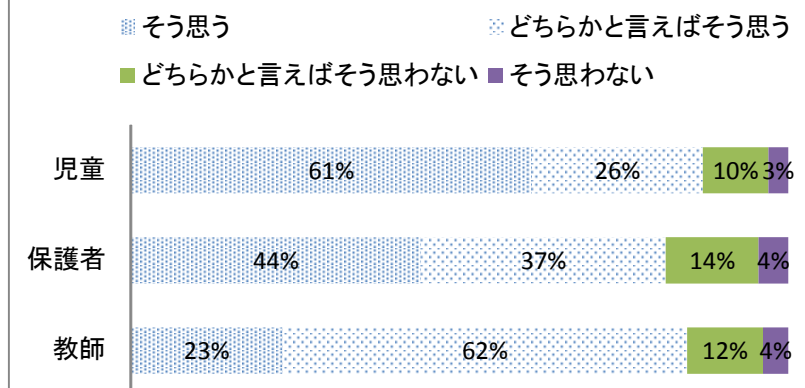
肯定的な回答が90%を超えている。今後も、児童が学ぶ楽しさを味わえる学校を目指して、教育活動の充実を図る。

2. よく話を聞いて学習しているか



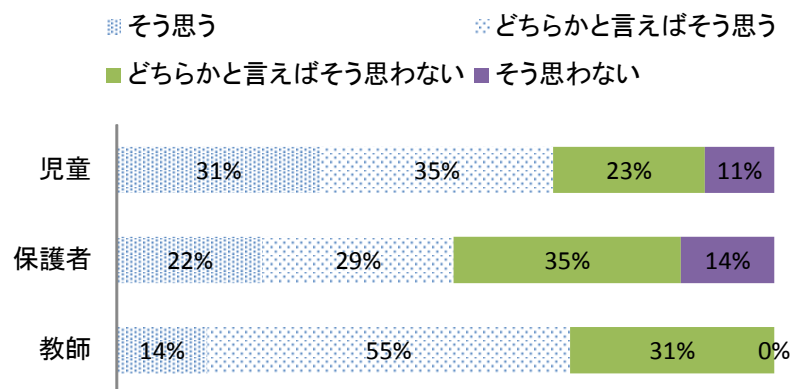
児童・保護者の回答は肯定的なものが多かった。また、教師の肯定的な回答が昨年度と比較して4%増加した。

3. 家庭学習をしているか



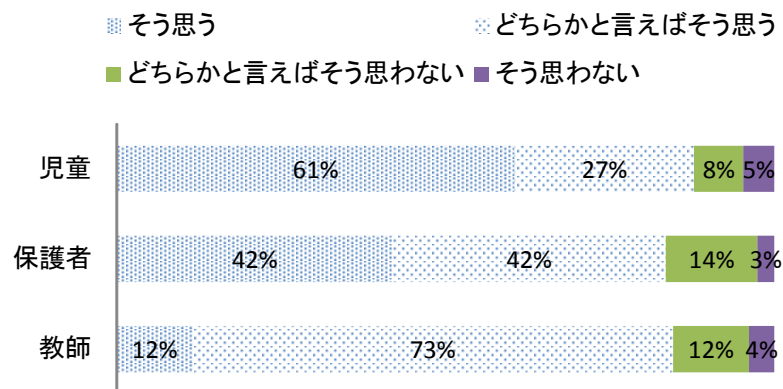
児童・保護者の回答は肯定的なものが多かった。また、教師についても肯定的な回答が昨年度より16%増加した。

4. 本を読んでいるか



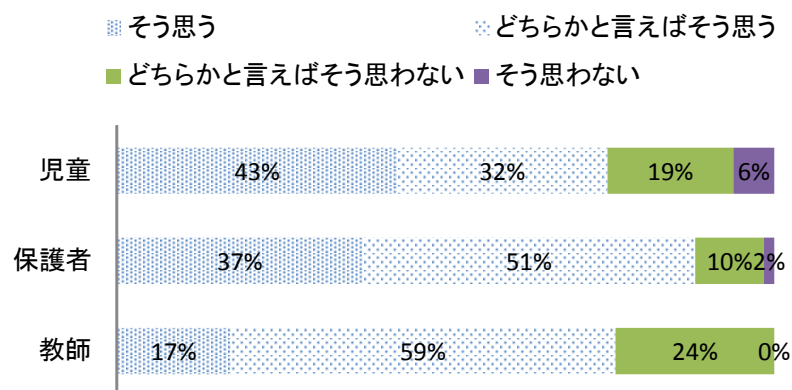
三者ともに、読書に取り組む姿勢が不十分だと感じている。読書推進の取組を充実する必要がある。

5. 学校のことをお話しているか



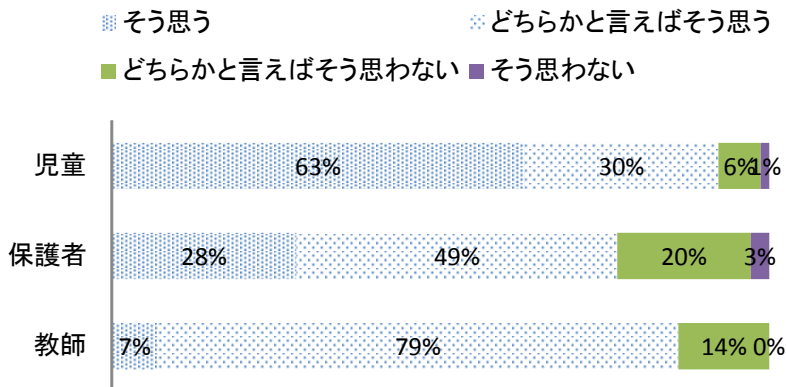
全体的に肯定的な回答が多かった。今後も、親子の会話を通して、学校の教育活動について理解を深めていきたい。

6. あいさつができていますか



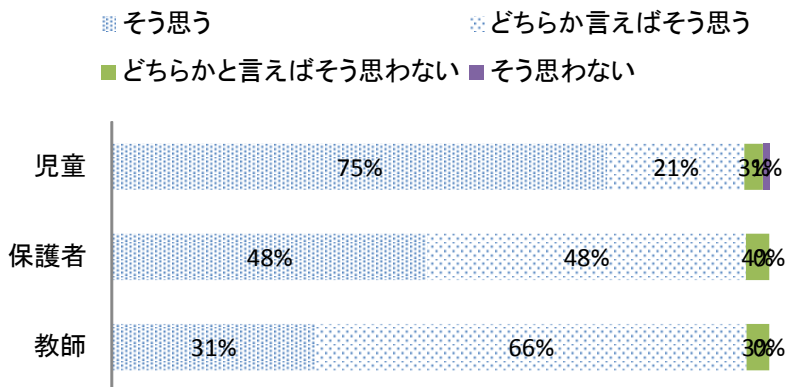
昨年度と比較して肯定的な回答が多くなった。今後もあいさつの習慣化を目指していきたい。

7. 言葉使いができていますか



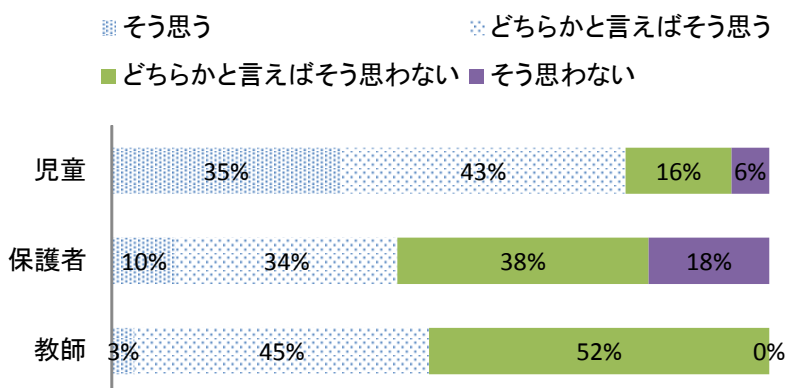
昨年度と比較すると、わずかながら肯定的な回答が増加した。今後も、時と場に応じた言葉づかいについて指導していく。

8. 仲良く生活しているか



昨年度に引き続き、肯定的な回答が多い。今後も、「心の教育」を充実させ、友達を大切にする児童を育成する。

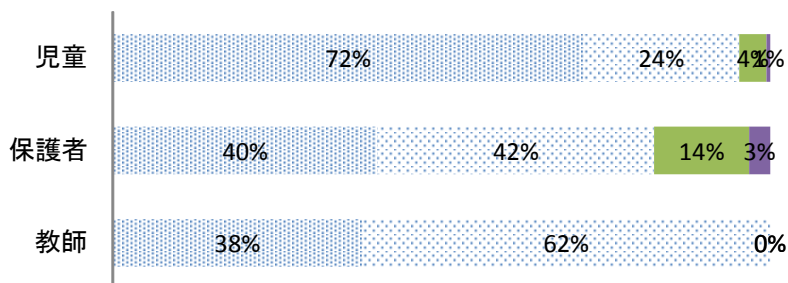
9. 整理整頓が身についているか



児童と保護者・教師の捉え方にずれが見られる。今後も整理整頓に係る指導の充実と見届けを細やかに行う必要がある。

10. 体力づくりに取り組んでいるか

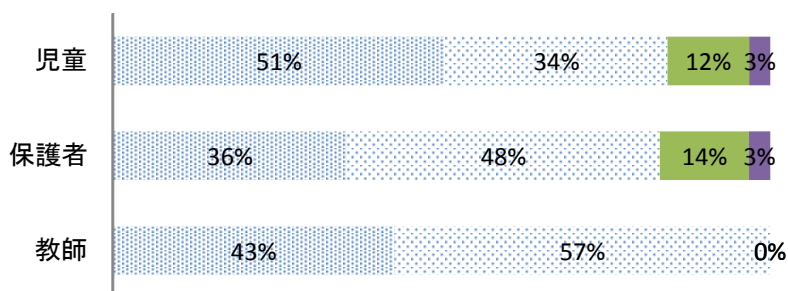
■ そう思う □ どちらかと言えばそう思う
■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



三者ともに、肯定的な回答が多い。概ね良好であると捉えられる。今後も体力づくりに努めていく。

11. 早寝・早起き・朝ご飯を大切にしているか

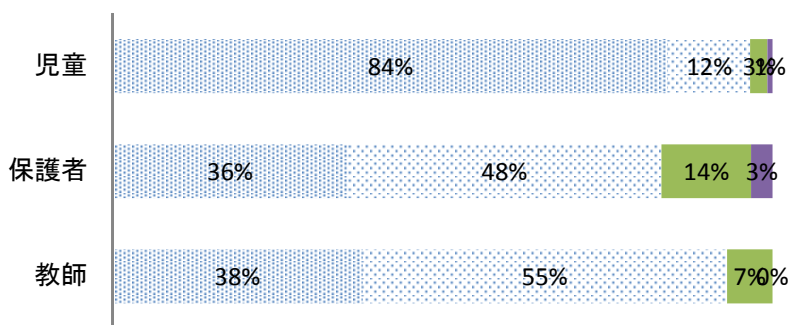
■ そう思う □ どちらかと言えばそう思う
■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



三者ともに肯定的な回答が多い。今後も文部科学省が推奨しているこの取組の充実を図りたい。

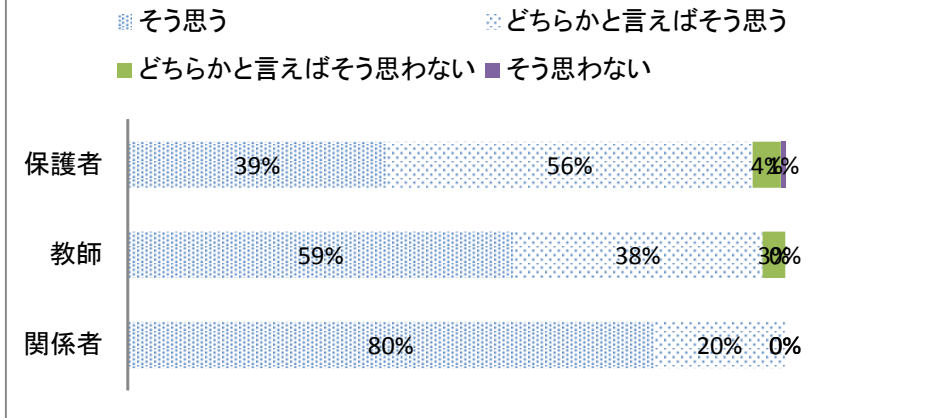
12. 事件や事故にあわないよう生活しているか

■ そう思う □ どちらかと言えばそう思う
■ どちらかと言えばそう思う ■ そう思わない



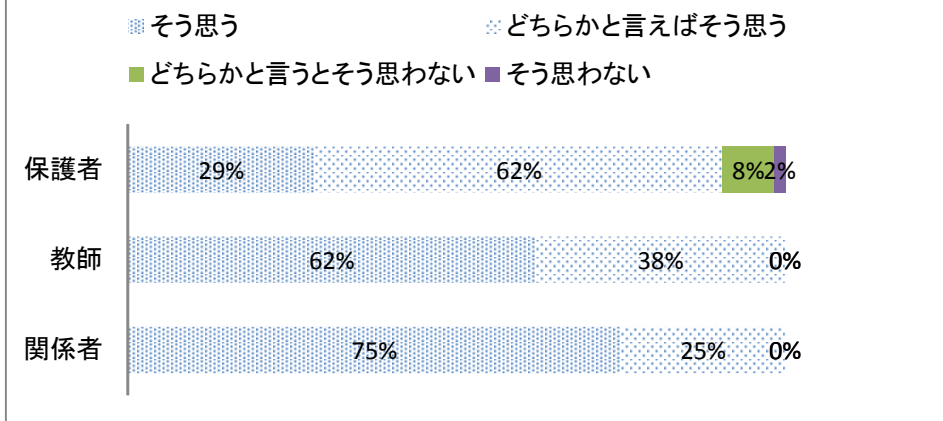
概ね肯定的な回答が多い。今後も、家庭、地域と連携するとともに、児童自身の安全意識の向上を図りたい。

1. 家庭・地域との連携



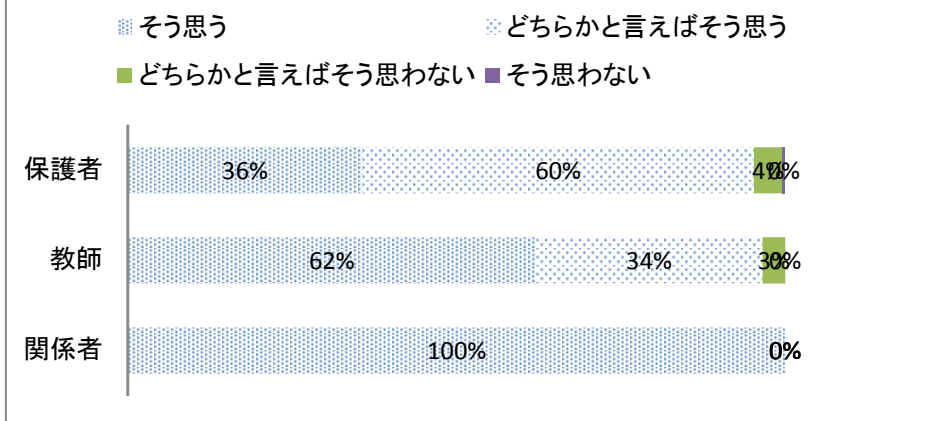
90%を超える肯定的な回答でした。今後も、家庭や地域と連携を密にした取組を継続して行きたいと考える。

2. 生活指導の対応



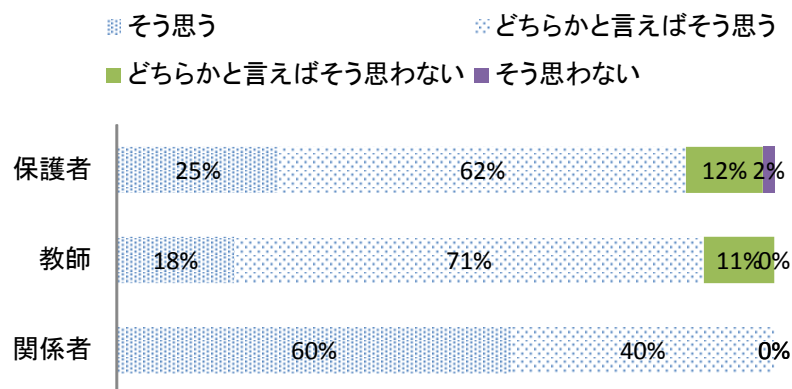
90%を超える肯定的な回答である。今後も学校と保護者が共通理解・共通行動がとれるようにしていく。

3. 学習指導法



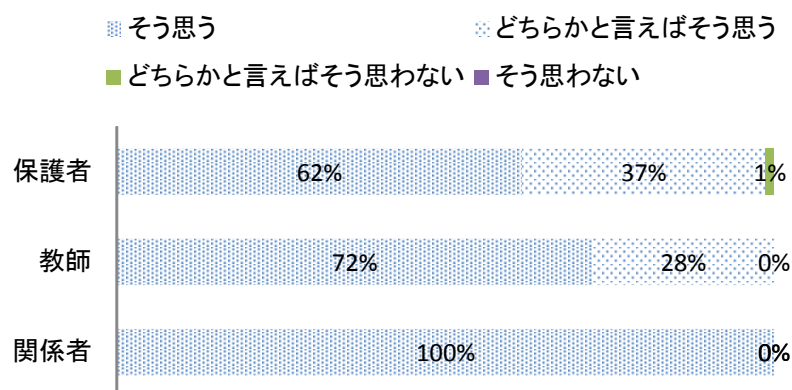
90%を超える肯定的な回答である。今後も課題研究や校内研修等により指導力の向上に努めていきたい。

4. 時代の要請への取り組み



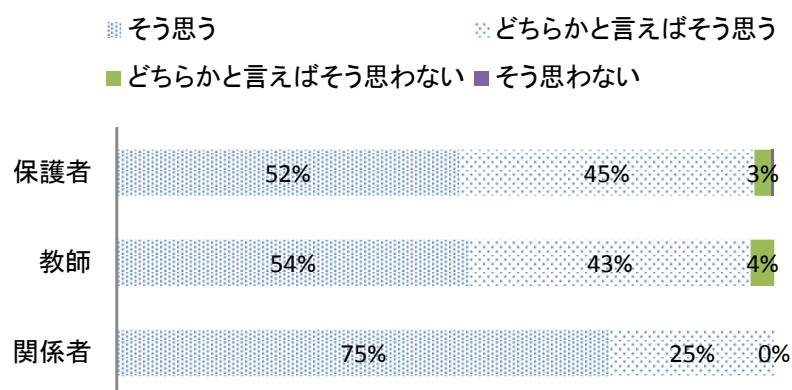
肯定的な意見が、9割程度占めている。今後も、国際理解教育や情報教育の推進に努めていく。

5. 体力づくり・健康づくり



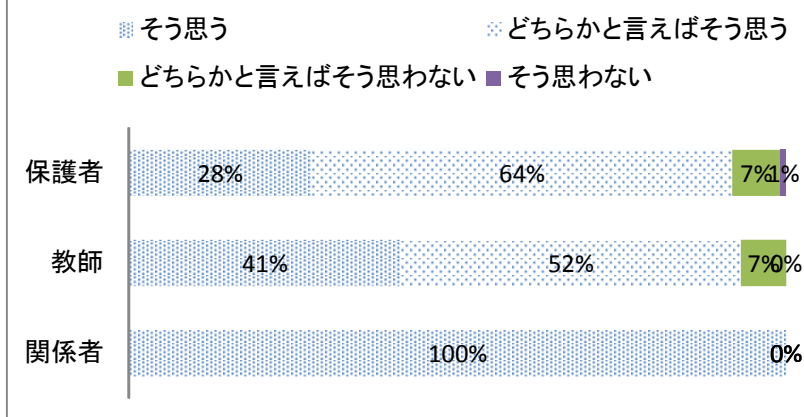
肯定的な意見がほぼ10割である。今後も、児童の体力向上、健康増進に努めていく。

6. 地域力の活用



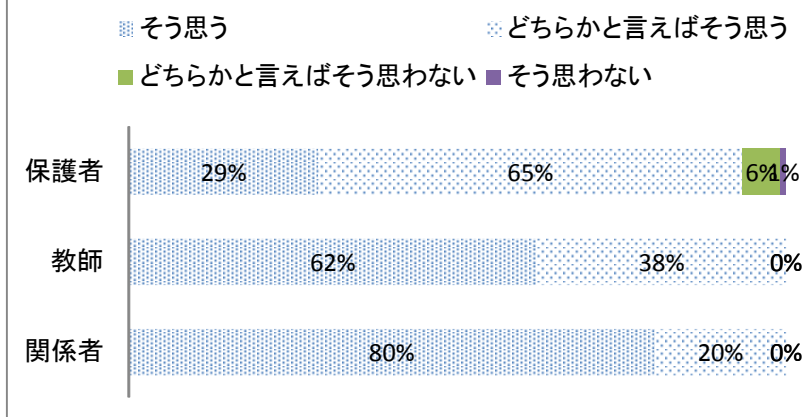
肯定的な回答が95%以上である。本校の教育活動に地域の方々や保護者の皆様が積極的に関わっていただいている成果である。

7. 豊かな心の育成



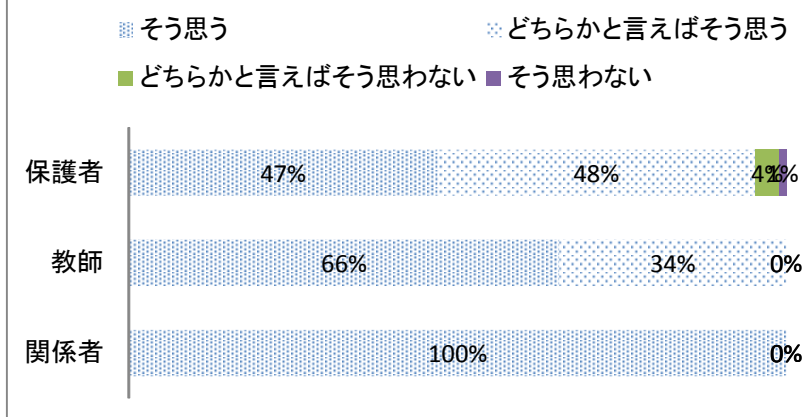
昨年度に引き続き、肯定的な回答が多かった。心の教育については喫緊の課題であり、今後も道徳心の向上に努めていく。

8. 評価



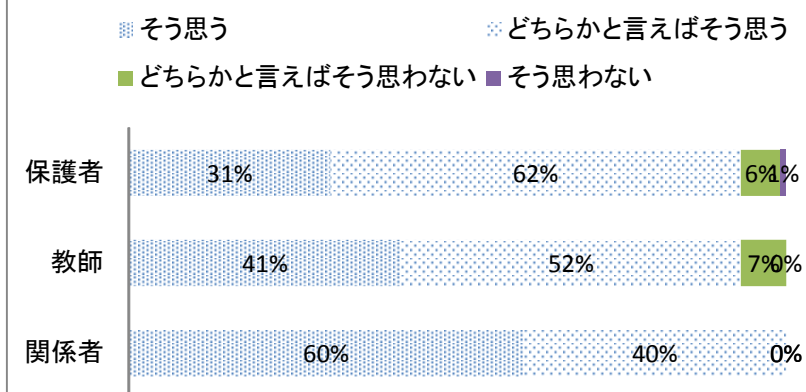
肯定的な意見が9割を超えている。児童を理解し、適切な評価がなされていると捉えている。今後も取組を継続したい。

9. 子どもへの安全指導



保護者の方々の旗当番や「出来ることからやろう会」の皆さんのご支援により、児童の安全が担保されていると捉える。

10. 教育環境の整備



肯定的な回答が9割を超えている。今後も、学校応援団ボランティアの方々や関係機関と連携を図り、環境整備に努めたい。

学校評価自由記述

○…肯定的意見 △…検討を必要とする意見 ☆…本校の対応など

【教育活動にかかること】

- 食育の取組、読書1万ページ、サマースクールなど内牧小の教育活動は様々です。先生方の熱意と努力に感謝します。
- 朝マラソンを通して子供に体力が付いたように思います。是非続けて欲しいです。
- △食育の取組（学期ごとに行っているお弁当づくり、アイデアおにぎり、大根レシピなど）において、親への負担を減らして欲しい。
- △学校行事やPTA行事で来校しなくてはいけない機会が多すぎる。回数を減らしたり、一時期に集中したりしないなどの配慮をお願いしたい。
- △体力づくり等については、その日の体調などにもう少し配慮して頂きたいと思います。
- △朝8時までに登校すればよいのに、朝8時までに朝マラソンのため外へ出なくてはいけないのはおかしいと思います。
- △1年中水筒を持参したい人は、持ってきてよいのではと思います。昔と違って、気温の差や乾燥もするので。
- △夏休みの課題について検討してもらいたい。夏休みの学習帳では問題数が少なく直ぐに終わってしまう。また、読書感想文や自由研究など子供だけではできずに親の宿題になってしまうことがある。

【今後の対応など】

- ☆本校の特色ある学校行事を高く評価していただきありがとうございます。各家庭の環境は、一様でないことは十分承知しております。無理をなさらず、できる範囲の協力で結構ですので、これからもご支援いただきますようよろしく願いいたします。
- ☆熱中症の危険性が低くなる時期では、即時の給水の必要性は低いと考えます。また、校内での水筒の管理面から考え、持参時期を設定しております。病気等で水筒持参の必要がある場合は、養護教諭や教頭までお話しいただきたいとおもいます。個別に対応させていただきます。
- ☆長期休業中の宿題の量については、各学年の発達段階を踏まえるとともに、市内外の各種展覧会等の応募依頼も踏まえ検討してまいります。

【児童に係ること】

- 朝の登校指導の際、こちらの顔をみて元気な挨拶をしてくれる子が増えてきたと感じています。
- △朝の旗当番の時に、こちらから挨拶しても無言である子供がいる。
- △学校へ行ったときに階段が汚れていることが多く、喘息など出やすい状況があるのではと感じます。また、教室の床も大変滑りやすいと思います。
- △学校へ行くたびに、床のほこりやトイレの使い方が気になることがあります。
- △トイレがあまり綺麗でない事はとても残念です。
- △1学期、大掃除に参加した時、ベランダの排水溝が汚れていた。
- △給食室側の門扉が1日中開いたままのようである。防犯上、問題であると思う。

【今後の対応など】

- ☆保護者の皆様方の声かけ、本校の「あいさつ運動」の取組を通して、児童のあいさつの状況について、以前よりもよくなっていると捉えております。しかし十分満足するには至っていない状況でもありますので、今後も「あいさつ」へのこれまでの取組を継続したり、検討したりして、一人でも多くの児童が進んであいさつができるよう育ててまいります。
- ☆子供達が安心・安全な学校生活を送る上で、施設等の環境整備は欠かせません。日頃の教職員による安全点検や清掃指導を初め、関係機関と連携しながら環境整備に努めてまいります。

【教職員に係ること】

- 時間割を毎週作ってくださることで、前もって持ち物が分かり助かります。
- 朝早くから、夜遅くまで先生方の仕事は大変だと思います。行事の準備や子供達への指導、

学級通信や宿題等など休む間もなく取り組んでいることに感謝します。

○いじめ対策に真摯に取り組んでいただいていると感じます。担任の先生のご配慮あるクラスづくりに感謝しています。おかげさまで、子どもが元気に学校生活を送る事が出来ています。

△宿題の量に学級間の差がある。

△子供を肯定的に評価して欲しい。

△校内で教職員に会ってもあいさつが無い場合がある。

△学校は保護者からの問い合わせや依頼に対する対応が不十分である。

△児童の集中が続くように指導方法を工夫して欲しい。

△子供とのコミュニケーションをもっととるべき。

△普段から話しやすく、親身になって対応して下さる先生には、相談できますが、そうでない先生には、話そうとは思いません。

△宿題の量が毎日多い等の場合は、子どもが登校すること自体、楽しくないと思います。また、居残りも、子どもの責任ではありますが、下校の際の安全確保等、保護者が迎えに行けない場合のことも考えて十分に配慮して欲しいです。

△「豊かな心の育成に努めている」は、先生にもよるのではと感じています。

△通知表の表記などを見ると、子ども達の力を伸ばす内容ではない気がします。

△運動会の時など、教員の方が子ども達に不適切な言葉を使っているのを耳にしました。とても不快な思いをしました。指導するはずの先生の言葉遣いが悪いのはいかがなものでしょうか。

△人の嫌がる事や言葉を言ったりする子がいるので、もう一度学級で話し合いをして欲しい。

【今後の対応など】

☆教職員の指導等について、高く評価していただきありがとうございます。今後も教職員一同、子供達が元気に登校できる学校づくりに努めます。一方、教職員の接遇態度や子供達への指導においてはまだまだ、改善しなければならない点もございます。今後も研修を通し、教職員の資質向上を目指してまいります。

【その他】

△アンケートの「潤いのある環境作り」と問われて、イメージがわかなかった。

【今後の対応など】

☆分かりやすいアンケートの表現になるよう検討してまいります。